

2019年度第1回放送番組審議会 議事録

会議名	2019年度 第1回 放送番組審議会	
日時	令和元年12月6日(金) 18:00 ~ 19:00	
場所	(株)たけはらケーブルネットワーク事務所	
出席者	委員会 : 宮原委員長・森木副委員長・有田委員・柄崎委員・北丸委員 用田委員・吉近委員・和久利委員 タネット : 近藤取締役・吉原制作部統括責任者 事務局 : 岡取締役・三國	以上 12名
内容		

生放送番組『ニュースLIVE』の見学。

近藤取締役、竹原商工会議所を退任し当社へ常勤役員就任の挨拶。

宮原委員長の挨拶に続いて議事へ進行した。

議事

1) 前回の審議会での意見に対する経過報告

制作部統括責任者 吉原より報告をした。

審議テーマ 災害時における報道のあり方について

《審議番組についての意見》

- 雨量など災害情報を早く知りたい。
⇒ 深夜など放送的に災害情報が伝えられないこともあり、『ヤフー雨雲レーダー』の使用許可を取り24時間流せるようになった。情報の中には台風の進路等も入っている。

2) 審議テーマ 8月よりリニューアル生放送番組『ニュースLIVE』について

制作部統括責任者 吉原が番組企画の説明。

その後、審議委員より以下の意見や感想が出された。

- 放送内のコメントのつけ方が良い。
- 撮影済みのものを編集して放送すると安心感はあるが、その分、生感が無くなる。
生放送でのコメンテーターの西川先生が上手なのでやり取りが楽しく思える。
- 出演回数をもっと増やした方が良いのか、ゲストを呼ぶために空けておいたほうが良いのか悩ましい。
- いつ頃からか判らないが、ものすごく放送が変わったように思う。
- スタジオセットの花は、造花だと思うがずっと同じである。花の好きな人は、花だけでも番組を見る。
花だけでも雰囲気が違うと思う。
- 地域、商店、街並みのイベント紹介が良い。
- 撮影が上手になった。
- 地震情報などのピンポイントテロップはありがたい。
- ニュースLIVEの生放送「ここまで出来るようになった」と感心した。
- 吉名学園校長がゲスト出演した回のような放送形式で、地域に密着した方にコメンテーターとして出でられれば、もっと関心を持ってもらえるのではないか。
- LIVEということでタイムリーに情報が出てくる、知らないことを知ることが出来るので良い。

- 生でしか味わえないものがしっかりと出てきているが、情報を放送にあげる為にあちこち撮影に行き、たくさん情報がたまってしまった時、毎日それを編集して短くして放送しなくてはならないスタッフの大変さが気になる。
- 竹原高校の授業の『KOGEN』について、「こんなことやっています」だけでは無く、どこからスタートしているのかをしっかりと伝えており非常に質が高いと感じた。
- アナウンサーとコメンテーターと一緒に映すことにより、ニュース番組表示の文字が小さくなると言っていたが、『切替え』、『引き』が定点カメラでも出来れば良いと思う。
- 番組がリニューアルしたのであれば、リニューアル感が薄れないようにアナウンサーの出演についても考慮してはどうか。
- もっと良くしていくには、いかに多くの方から意見を吸い上げ、フットワーク良くタイムリーに動いていくことが要求されてくると思う。
いい意味で制作の方にも市民の意見が入るようになるともっと良くなると思う。
また、視聴者の方の意見が見えたり聞こえたりしてくるとやりがいがあり、大変な仕事が張合いになるのではないかと思う。
⇒ 視聴者からの意見が入るのは難しいと思うので、委員の皆さんが思ったことを発言してほしい。
もっと市民の人に知ってもらいたいという思いがあるので、取材先の方にスタジオに来てもらい体験等、生の声を言ってもらいたい。
- コメンテーターの選択基準はどのようにしているのか。
⇒ 会社とか法人で利益に関係の無い方等を選定している。
タネットに関心をもってもらっている委員の方から、推薦があれば教えてほしい。
現在、撮影に行ったスタッフがスタジオに出演しているが、これは、取材に行った者が一番状況をわかっており、映像に見えないところを伝えられるからである。

3) 審議テーマ 番組企画のご提案

- 昨年の災害時の放送はすごく良かった。それに準じて復興復旧はどこまでやっているのか番組で取り上げてほしい。
⇒ 来年1月から月曜日の生放送にて行政情報コーナーを設けようと考えている。
市の担当者に出演をしてもらい一週間の動き、報告等を市民に伝えていこうと思う。
- 市役所の各部署が普段何をやっているのか判らない人がたくさんいると思うので、市役所の情報をしっかり取入れてほしい。
⇒ 市の企画広報係に出演依頼をしたところ快諾してもらった。
市の若い人は出演したいと思っているようなので、今後、巻き込んでいくようにしたい。
- 現在、放送をしている『川柳』や『釣り』等の番組は、どのように選んでいるのか。
放送をするのならタネットでしか見れない専門的な番組をもっと放送してほしい。
⇒ 種類は少ないが無料配信されているものをタネット側で選んで放送している。
趣味の専門的な方については、市内で見つけるのは難しい。

事務局 岡より挨拶後、委員会を終了した。

以上